

2022年度（令和4年度）

事業計画書

目 次

2022年度の事業計画	<u>1~3</u>
I 事業計画の基本	
II 大学の基本方針	
III 中学・高等学校の基本方針	
予算編成	<u>4~5</u>

2022年度の事業計画

I 事業計画の基本

学園は今後も建学の精神と伝統を継承して「十年先、二十年先に役立つ人作り」のため、常に将来を見据え時代を先取りした教育体制の構築に尽力しつつ、着実な発展を続けていくための教育研究環境の整備充実に一層の力を注いでいく。

II 大学の基本方針

大学創立20周年(平成7年)にあたり、学園創立以来の建学の精神と伝統を受け継ぎながら、男女共同参画、生涯学習、国際化社会、障がい者や環境にやさしい社会といった時代と社会の要請に応え、大学の理念を「違いを共に生きる」と定め、この理念を具体的に実現するため「地域に根ざし、世界に開く」「役立つものと変わらないものと」「たくましさやさしさを」の三つのテーマを掲げ、男女共学体制に移行した。

その後、この理念にそって、学部、研究科の設置、改組を進めるとともに、学生の学びの質を充実するために、常にカリキュラムを検討し、教育研究体制の改善充実に努めてきた。

また、地域社会に貢献し連携をさらに図るため諸機関の附設を行ってきたところである。

この基本方針の下に、2020年度策定した、「愛知淑徳大学ビジョン2020」、「中期計画2020年～2024年」及び学校教育法第109条第2項に規定する認証評価の結果を踏まえて、次のような事業に取り組んでいく。

(1) 120周年記念事業 長久手キャンパス整備計画

学校法人愛知淑徳学園が2024年度に学園創立120周年、大学創設50周年を迎えるにあたり、その周年記念事業の一環として、愛知淑徳大学長久手キャンパスの整備をおこなう。

また、本学の医療・健康系分野の教育体制とクリニックの充実を図り、地域社会との連携を強めていくことを目的として、学部・学科の改組及び学科(専攻)を新たに設置する計画に伴う関連施設等の整備を進めていく。

① 2022年度完成予定

- ・13号棟の建設が完了し、「言語聴覚学専攻」及び「視覚科学専攻」を13号棟へ移設する。なお、2024年度開設構想中の「理学療法学専攻(仮称)」、「臨床検査学専攻(仮称)」も13号棟に設置する予定である。

- ・クリニック関連施設(心理臨床相談室は現アースメック棟のまま)も

1 3号棟へ移設し、医療系学部・学科との更なる連携を図る。併せて、メディカルフィットネスを1 3号棟に設置する。

・学生部関連施設を3号棟1階へ移設する。

② 2023年度完成予定

・2024年度開設構想中の「食健康科学部食創造科学科（仮称）」及び「健康栄養科学研究科（仮称）」関連施設を新1号棟に設置する。

・現1号棟にある講義室、ゼミ室、研究室を新1号棟へ移設する。

・言語聴覚学専攻・視覚科学専攻現エリアの跡地（11号棟3階・4階）を改修する。

・役員室、事務局、企画室を14号棟（現アースメック棟）へ移設する。

（2）情報活用及びデジタル活用に関する組織体制を整備し、情報の連携効率化を図る。

大学の様々なデータを一括管理し、教学組織、事務組織の必要に応じて随時指標を提示可能な組織体制及びデジタル活用に関する対応を随時行える組織体制を整備する。

（3）教育研究体制の充実

中期計画を踏まえ教育研究等環境の充実のため、情報教育センターのPC等機器類のリプレイス、長久手キャンパス整備のための特定資産の積み立て（6年目）、一般教室の操作卓のAV機器のリプレイス、GHP空調機の更新工事、女子トイレ改修工事、静的自動視野計の更新、救急救命学専攻の実習機器等の購入、テニスコートの人工芝の全面張替え、エレベーター安全装置設置工事、エスカレーターの各稼働部品の交換及びメンテナンス、淑友館敷地内の土砂崩れ復旧対策工事を行う。

Ⅲ 中学・高等学校の基本方針

文科省が打ち出したGIGAスクール構想の目指すところは、子どもたちの個性に合わせた教育の充実である。それは、変化の激しい時代に合わせてICTを活用し、新しい教育へシフトしていくことを意味している。中高中期計画で提起された、学習に取り組む意欲を高め、自ら学習する習慣・態度を身につけさせるためにも、一人ひとりの個性が活かせる学習環境の整備は必須である。2022年度中に中学校全学年分のタブレット端末整備を完了させるため、昨年度の中学校2学年分に引き続き、今年度は中学校1学年分のタブレット端末を整備する。

普通教室におけるICT環境整備については、周辺機器としてのプロジェクター整備が欠かせない。教材や発表用資料を簡単に提示したり、電子黒板を

併用することで学習の理解を促進するだけでなく、生徒用端末の接続により個々の意見の発信や共有が簡単に行える。プロジェクターの交換ランプが2022年度で製造中止になるため、プロジェクターの更新を行う必要があり、中学普通教室は今年度、高校や特別教室についても来年度以降順次更新する。

予算編成

I 資金収支予算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位: 千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算	差 異
〔 収入の部 〕			
1. 学生生徒等納付金収入	10,736,555	11,166,260	△ 429,705
2. 手数料収入	173,336	185,802	△ 12,466
3. 寄付金収入	59,200	54,800	4,400
4. 補助金収入	1,345,904	1,120,869	225,035
5. 資産売却収入	500,000	500,000	0
6. 付随事業・収益事業収入	201,115	209,434	△ 8,319
7. 受取利息・配当金収入	36,786	40,821	△ 4,035
8. 雑収入	251,616	125,941	125,675
9. 借入金等収入	0	0	0
10. 前受金収入	1,710,640	1,712,470	△ 1,830
11. その他の収入	8,756,807	468,836	8,287,971
12. 資金収入調整勘定	△ 1,946,268	△ 1,796,564	△ 149,704
13. 前年度繰越支払資金	25,124,212	25,813,323	△ 689,111
収入の部合計	46,949,903	39,601,992	7,347,911
〔 支出の部 〕			
1. 人件費支出	6,276,604	5,970,033	306,571
2. 教育研究経費支出	3,470,642	3,384,787	85,855
3. 管理経費支出	1,635,156	1,608,053	27,103
4. 借入金等利息支出	0	0	0
5. 借入金等返済支出	0	0	0
6. 施設関係支出	8,601,391	1,738,555	6,862,836
7. 設備関係支出	584,506	484,061	100,445
8. 資産運用支出	3,650,300	3,710,000	△ 59,700
9. その他の支出	381,000	382,000	△ 1,000
10.〔 予備費 〕	100,000	100,000	0
11. 資金支出調整勘定	△ 167,000	△ 173,000	6,000
12. 翌年度繰越支払資金	22,417,304	22,397,503	19,801
支出の部合計	46,949,903	39,601,992	7,347,911

学生生徒から徴収する入学
金・授業料等が該当します。

主に入学検定料が該当します。

当年度の収入でないもの(期末未収
入金、前期末前受金)を控除する科
目です。

教育や研究のための支出が
該当します。

学校を運営するために管
理をしている部署の支出
が該当します。

土地、建物、構築物等固定資
産の取得を表す科目です。

機器備品、図書、ソフトウェア等
の取得を表す科目です。

当年度の支出でないもの(期末
未払金)を控除する科目です。

当年度の資金収支の収入と支出
の差額です。

表示額の端数調整…予算書の記載額を千円未満「調整」してあるので、差異及び合計欄の数値と一致しないことがある。

●資金収支予算書

当該会計年度の学校法人の教育研究活動やこれに付随する活動等に対応する全ての収入及び支出の内容、並びに支払資金(現金預金)の収入及び支出のてん末を表すものです。

II 事業活動収支予算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位: 千円)

		科目	本年度予算額	前年度予算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	1. 学生生徒等納付金	10,736,555	11,166,260	△ 429,705
		2. 手数料	173,336	185,802	△ 12,466
		3. 寄付金	37,700	37,700	0
		4. 経常費等補助金	1,330,615	1,107,269	223,346
		5. 付随事業収入	201,115	209,434	△ 8,319
		6. 雑収入	251,616	125,941	125,675
		教育活動収入計 ①	12,730,937	12,832,406	△ 101,469
	事業活動支出の部	7. 人件費	6,231,529	5,996,643	234,886
		8. 教育研究経費	4,691,578	4,598,245	93,333
		9. 管理経費	1,824,853	1,816,117	8,736
10. 徴収不能額等		0	0	0	
	教育活動支出計 ②	12,747,960	12,411,005	336,955	
	教育活動収支差額 ③(①-②)	△ 17,023	421,401	△ 438,424	
教育活動外収支	事業活動収入の部	11. 受取利息・配当金	36,786	40,821	△ 4,035
		12. その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計 ④	36,786	40,821	△ 4,035
	事業活動支出の部	13. 借入金等利息	0	0	0
		14. その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計 ⑤	0	0	0	
	教育活動外収支差額 ⑥(④-⑤)	36,786	40,821	△ 4,035	
	15. 経常収支差額 ⑦(③+⑥)	19,763	462,222	△ 442,459	
特別収支	事業活動収入の部	16. 資産売却差額	90	220	△ 130
		17. その他の特別収入	43,789	37,700	6,089
		特別収入計 ⑧	43,879	37,920	5,959
	事業活動支出の部	18. 資産処分差額	39,144	44,865	△ 5,721
		19. その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計 ⑨	39,144	44,865	△ 5,721	
	特別収支差額 ⑩(⑧-⑨)	4,735	△ 6,945	11,680	
	20. [予備費]	100,000	100,000	0	
	21. 基本金組入前当年度収支差額 ⑪(⑦+⑩-予備費)	△ 75,502	355,277	△ 430,779	
	22. 基本金組入額合計 ⑫	△ 3,741,024	△ 4,696,301	955,277	
	23. 当年度収支差額 ⑬(⑪+⑫)	△ 3,816,526	△ 4,341,024	524,498	
	24. 前年度繰越収支差額 ⑭	△ 868,258	588,859	△ 1,457,117	
	25. 基本金取崩額 ⑮	0	0	0	
	26. 翌年度繰越収支差額 ⑯(⑬+⑭+⑮)	△ 4,684,784	△ 3,752,165	△ 932,619	
(参考)					
	27. 事業活動収入計 ⑰(①+④+⑧)	12,811,602	12,911,147	△ 99,545	
	28. 事業活動支出計 ⑱(②+⑤+⑨+予備費)	12,887,104	12,555,870	331,234	

表示額の端数調整…予算書の記載額を千円未満「調整」してあるので、差異及び合計欄の数値と一致しないことがある。

●事業活動収支予算書

当該会計年度の事業活動ごと(教育活動、教育活動以外の経常的活動、前二者以外の活動)の収入及び支出の内容、並びに基本金組入れ後の当該年度のすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡の状態を表すものです

資金収支の寄付金収入から施設・設備に関連する寄付金を控除し、施設・設備以外の現物寄付を加算しています。また、施設・設備に関連する寄付金(現物寄付を含む)は特別収支のその他の特別収入に計上されています。

資金収支の補助金収入から施設・設備に関連する補助金を控除しています。また、施設・設備に関連する補助金は特別収支のその他の特別収入に計上されています。

資金収支の同科目に減価償却額が加算されています。

資金収支の同科目に減価償却額が加算されています。

学校法人が教育研究活動を円滑に遂行していくために必要となる資産を取得し、教育水準を低下させることなく継続的に保持するために組み入れる金額です。

2022年度 事業計画書

2022年3月 発行

学校法人 愛知淑徳学園

愛知淑徳大学事務局